



ニックネーム／ジヨニー
氏名／平石 守さん（神奈川県出身）
滞在地／ボツワナ共和国



ツワナ語で「こんにちは」
Dumela! ジヨニーです！

僕の住むレタケン村にはたくさんの才能あふれた人々が居るのですが、今日はレタケン村の隣村のDitshegwanneに住んでいる仕立て屋さんをご紹介します。

彼女と出会ってまだ3か月なので関係は浅いですが、精力的に商品を製作してくれています。出会った月の終わりには、私たちが展出したコンシユーマー・フェア（ボツワナのあらゆるものが集まる見本市）で、彼女の商品を展示して、来場者に販売することができました。さらに、僕が「こんなのはどう？」「ちょっと作ってみてくれない？」と伝えると、作ったことの



伝統布を使ったコースター

ないものでも、挑戦してくれています。

また、先日会った時には、ワークショップと一緒にやろうという話になったので、これから誰に対して、どういった目的でやっていけるかなどをしっかりと話し合っていけたら良いなと思います。そして、彼女が他の住民たちの事も引っ張っていってくれたらと、応援しています。

それでは、また～

集落支援員のつながる Gojome!

集落支援員とは？
地方自治体から委嘱を受けて集落の維持・活性化を支援しています。

こんにちは！集落支援員の竹内です。11月はイベントが盛りだくさんの1か月でした。五城目町地域活性化支援センター（通称：BABAME BASE）の12周年祭ではたくさんの方のパフォーマンスがあり、集落支援員もギター弾き語りや売店係として関わさせていただきました。また、朝市通りで開催されたきのこまつりの日には「貸し棚おうみや」を休憩所兼イベント会場として解放しました。

BABAME BASE周年祭では特に馬場目地域の住民の方々、きのこまつりでは町外からの来場者の方々との交流の中で、地域イベントにおいて自分の役割があることのありがたさを実感したひと月にな



集落支援員の保坂さんによるギター弾き語りの様子

りました。

イベント時は日常とは異なる視点から地域・町内の様子をうかがうことができ、それぞれの方のやりがいや町内の活気の創出につながる要素を発見できる場でもありました。また、戸別訪問でいただくお声の中から、地域課題だけではなく一人一人の方のやりがいや価値観を知ることが町全体としての豊かさにつながるのではないかと感じました。

Hello Gojome!



アメリカ合衆国ワシントン州出身。
2024年7月29日から、町の外国語指導助手(ALT)に着任しました。

Michealea Lemons
(マシェイラ・レモンズ)



Hello Gojome,
It's almost time for winter vacation!
Do you have any fun plans? I want to learn how to crochet. I am also planning to show some of my friends around Gojome, so please say hello if you see us.

I am looking forward to the winter festivals in Akita. The Kamakura Festival in Yokote was my favorite. I'm excited to visit again. Please tell me about other winter festivals I should visit!

Last month two of my friends from America came to Japan. It was their first time visiting Japan. I missed them so much. Here is a photo of us in Kyoto before we watched the Yokai Parade.

Until next time.

秋田の冬を楽しもう！

ハロー五城目！

もうすぐ冬休みですね！何か楽しい予定はありますか？ 私はかぎ針編みを習いたいです。友達に五城目町を案内する予定なので、もし私たちに会つたら声をかけてくださいね。

秋田の冬のお祭りが楽しみです。横手のかまくら祭りがお気に入りです。また訪れるのが楽しみです。その他にもお勧めの冬のお祭りがあれば教えてください！

先月アメリカから友達2人が日本に来ました。彼らにとって初めての日本でした。別れはとても寂しかったです。この写真は京都で妖怪パレードを観る前の写真です。

それではまた。

五高 NEWS

五城目高校のわだいを定期的にお届けします！



テント設営訓練の様子

12月の予定

2日㈫～5日㈮ 2学期末考査
10日㈬ ふるさと企業紹介講座(1、2年)
19日㈮ 2学期終業式
22日㈪～1月13日㈫ 冬季休業
※12月29日㈪から翌年1月3日㈯まで
学校閉校日となります。

五城目高校ホームページ：<http://www.gojome-h.akita-pref.ed.jp/>

10月29日、地域連携安全・安心推進事業の一環で、「五高防災デー」を行いました。町住民生活課の皆さんによる講話や、県総務部総合防災課および大館少年自然の家の皆さんによる避難所運営やテント設営などの指導を通じて、生徒たちは緊急時における様々な対処の仕方を学びました。

講話『災害における避難所としての五城目高校の役割ほか』

●□□□□ (2年A組)

災害が起きた時は、警報が出る前に避難することや、ハザードマップを覚えておいて避難所に行けるようにしたいと思いました。

講話・演習『HUG (避難所運営ゲーム)』

●□□□□ (1年B組)

避難所の運営は意外と難しく、実際やったら大変だろうと思います。班のみんなと体験してみておもしろかったです。

体験『あきた県庁出前講座 防災教育 (テント設営ほか)』

●□□□□ (1年B組)

防災教育では、倒れている人を毛布担架で運びました。テント設営では、みんなで骨組みを入れたりマットを敷いたりして、立てることができました。

●□□□□ (3年A組)

自分が見えない人でもキクルというアプリを使うことで、音声によりその場所が安全かどうかを認識できることを学びました。

●□□□□ (2年B組)

実際に災害が起きましたときには、混乱してパニックに陥ってしまうことが想されるので、避難所の運営訓練はとてもよい機会になりました。

●□□□□ (3年B組)

テント設営では、皆で協力することが大事だと感じました。毛布担架体験では、頭が一番重いので、運ぶ時に力のある人が頭の部分を持つとよいと感じました。